



社会福祉法人 松山老人保健施設にぎたつ苑



にぎたつの

2022

冬

第44号



CHECK!

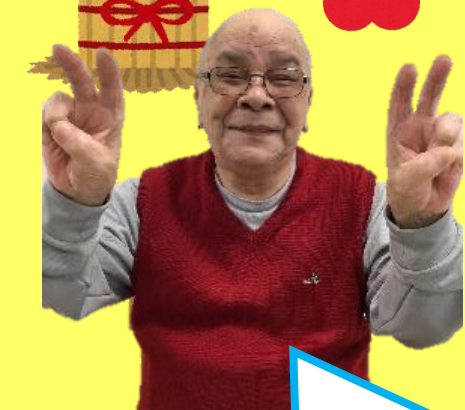


松山城の広場には、桜と一緒に梅の木も、ようけ植わっとるんよね～。これから花が咲き出す頃合いじゃけん、天氣のええ日にお城山へ登ってみん？

<https://www.matsuyamajo.jp>

年男年女

2022



リハビリを頑張って元気になりたい



お父さんと仲良く元気に過ごしたい！



毎日楽しく過ごしたい！



元気で病気にならないように頑張りたい



元気に過ごしたい！



今年も元気にデイへ通います

新年 謹賀



一日一日元気で！

～地域連携の取り組み～

＜地域社会とともに歩む、にぎたつ苑の活動をご紹介＞



にぎたつ SDGs プロジェクト



にぎたつ SDGsプロジェクトとして、職員に声かけをし、味生小学校と興居島小学校にベルマークとペットボトルキャップを寄付しています。最近では、ご利用者様のご家族や、地域の方にも一緒に集めていただいております。

介護教室



今年度は、興居島小学校の生徒さんたちに介護体験教室を開催しました。高齢者疑似体験、視覚障がい者疑似体験、車椅子体験をしていただきました。

地域清掃活動



済生会松山病院周辺や地域の道路の清掃を定期的に行っています。

デイサービスセンターごごしま

このたび、デイサービスセンターごごしまに、新しい送迎車が加わりました。車のボディには、済生会のシンボルであるナadeshikoの花が伸びやかにデザインされていて、介護車両にマッチする温かみのある外観に仕上がっております。

通常は7人乗りの乗用車として使いますが、後部座席のレイアウトを変えることによって、乗員5人プラス車椅子1台を積載できます。これまでは、軽自動車2台でご利用様を送迎していたところを、この車1台で行くことができるようになり、送迎時間が短縮されました。

「この年で新車に乗れるとは思わなんだ！」と喜んでくださるご利用者様もおられ、音が静かで乗り心地が良いと評判も上々です。



↑ステーションワゴンタイプです



↑後部には柔らかな色調のナadeshiko

→車椅子モードになります



→視界良好、助手席からの眺めは格別です！



体験利用あり

お問い合わせ先 TEL 089-961-5800

※次回は通所リハの記事を掲載します。

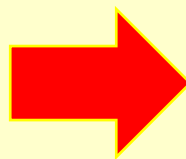
にぎたつ苑の事務室・相談室がリニューアルしました

この度、事務室・相談室の大規模改装を行いました。事務室の入口ドアはオープンにし、開放的で立ち寄りやすい雰囲気となっています。また、談話室を増設し、落ち着いた雰囲気の中で、ご相談や打ち合せができるようになりました。お気軽にご利用下さいませ。



改装前の事務室・相談室

After!



Before...



入所・短期入所療養介護

お問い合わせ先 TEL 089-951-6600

- ・ 日常生活の介護(食事、入浴、整容、更衣、排泄)・看護(健康状態の把握、口腔ケア、医療的処置など)
- ・ リハビリ(短期集中リハビリ、認知症短期集中リハビリ、個別リハビリ、集団リハビリ)
- ・ レクリエーション(集団レク、集団体操、教養娯楽活動など)
- ・ その他(入所や退所の相談、ケアプラン作成、家族の相談、退所指導、居宅との連携など)

訪問介護事業所

お問い合わせ先 TEL 089-951-1106

生活援助:掃除、調理、洗濯(洗濯物干し、取り入れ)、シーツ交換、買い物代行、衣類の整理など

身体介護:入浴介助、清拭、買い物同行、通院同行、食事介助、口腔ケア、排泄介助、更衣介助、移動や移乗介助、自立支援の見守りなど

・営業日(相談受付日)月～金(12/30～1/3を除く)・営業時間(相談受付時間)8:30～17:00

・サービス提供時間…ご利用者の希望するサービスに対応

・ご利用範囲…松山市(旧北条市、中島町を除く) *興居島地区にもサテライトがあり対応しています。

居宅介護支援事業所

お問い合わせ先 TEL 089-951-1514

ケアマネジャーはお決まりですか? 介護のこと、お気軽にご相談ください

私たちケアマネジャーは介護保険制度において、要支援・要介護と認定された人が、住み慣れた我が家でその人らしい生活ができるように、適切なサービスの提供をご支援いたします。

在宅生活復帰支援センター ハートフル済生会

お問い合わせ先 TEL 089-946-8100

保健・医療・福祉サービスを統合的に提供・支援する賃貸住宅です。生活支援をさせていただき、自立と早期社会生活の復帰や生活機能の維持を目指します。安心した環境の中で、今までの生活ペースでご自分に必要な在宅サービスをご利用いただきながら、お過ごしいただけます。デイケアやデイサービスに通うことも出来ます。

済生会松山訪問看護ステーション

お問い合わせ先 TEL 089-951-1335

訪問看護 ・健康状態の観察 ・病状悪化の防止 ・回復・療養生活の相談とアドバイス ・リハビリテーション

・点滴、注射などの医療処置 ・痛みの軽減や服薬管理 ・緊急時の対応 ・主治医、ケアマネジャー、薬剤師、歯科医師との連携など

訪問リハビリ ・健康状態の観察(訪問看護師との連携) ・身体機能訓練 ・基本動作の訓練 ・発声、発語、嚥下の訓練

・日常生活動作の訓練 ・住環境の整備 ・福祉用具の選定 ・自己訓練の指導 ・ご家族への介護支援、相談など

営業日【月曜日～金曜日】AM9:00～PM5:00 【土曜日】AM9:00～PM12:00 24時間緊急時対応あり

済生会なでしこハウス

お問い合わせ先 TEL 089-992-9326

(療養通所介護&多機能型療養所)

サービス内容 ・個別送迎 ・健康状態の観察 ・食事介助・入浴介助・排泄介助 ・医療的ケア ・レクリエーション

・医師、訪問看護師、ケアマネジャー、相談員との連携など

対象者 <児童発達支援、放課後等デイサービス>

18歳までの障害児で重症心身障害のお子様。医療処置が多く、常時看護師の目が必要な障害児の通所施設。

<生活介護>

18歳以上の障害者で医療処置が多く、常時看護師の目が必要な通所施設。

<日中一時支援>

日中において、一時的に見守り等の支援が必要と市町村が認めた障害者が対象。

営業日【月曜日～金曜日】AM9:00～PM5:00 【土曜日】AM9:00～PM5:00

済生会ワークステーションなでしこ

お問い合わせ先 TEL 089-916-6959

(就労継続支援 B 型事業所)

就労継続支援 B 型とは障がいをお持ちの方を対象に、生産活動を通じて就労に必要な知識の獲得や能力の向上のための訓練を行なうサービスです。訓練を通して就労に対する知識や能力が向上した方は、就労継続支援 A 型や一般就労へとステップアップすることもできます。

開所日時【月曜日～金曜日】AM10:00～PM15:00 【土・日・祝日】お休み

VR 技術は介護に生かせる？



にぎつつ苑では、近頃だんだん身近になりつつある VR(仮想現実)技術を用いた機器に注目し、これを介護の現場で活用できないか探るために、新たな取り組みを始めました。

活動の中心となるのが VR 専門チーム。必要な機材を用意し、各部署の職員と連携しながら、ご利用者様の満足度とケアの質の向上を目指して、模索を続けています。まだ試行錯誤の段階ですが、新聞で取り上げられるなど、徐々に注目が集まっています。

今回は VR チームリーダーと、VR を体験されたご利用者様へのインタビューを掲載します。

Q1.VR を導入した経緯は？

コロナ禍で、外出機会が制限されたり、施設でのイベント(歌の会や夏祭り)が制限されたため、何か新しい取り組みを行えないかと考え、令和2年より、VR(仮想現実)の導入を試みました。最初は高齢者に VR が出来るのか？と聞いていたのですが、実際に体験していただくと、「旅行に行った気分になって楽しかった！」「今はこんなのが見られるんやね。また見せてほしい！」と好印象の方が多く、導入してよかったと感じています。



VR チームリーダー
林田直也(理学療法士)

Q2.どのようなことをしているのでしょうか？

まず、椅子に座ったまま VR ゴーグルを着用していただきます。それだけで、思い出の場所や、有名な観光地の映像が 360° 目の前に広がり、実際にその場所にいるような体験をしていただくことができます。具体的には、松山城や道後温泉、面河溪といった愛媛の名所から、東京タワーやスカイツリー、海外の有名な観光地などを見て小旅行体験をしていただくことが可能です。



VR ゴーグル

Q3.高齢の方に実施するにあたり、工夫したことはありますか？

当初は運動に活用したかったのですが、VR ゴーグルを装着しての運動はなかなか難しかったので、見るだけで楽しめるものを模索しました。視力が低下されている方にも安心して見ていただけています。乗り物酔いしやすい方には動画はお見せせず、360° カメラで撮影した静止画を楽しんでいただいています。要望があればその場所に撮影に行ったりもしており、利用者さんからはとても好評です。



VR 体験中の様子

<<VR を使われたご利用者様の感想>>

Q:VR を体験してみた感想をお聞かせください。

最初は母校や生まれ育った町の映像を見て、学生時代の思い出話をしました。今と昔では建物や風景もだいぶ違って、驚くことも多かったです。現在は愛媛県内のいろんな場所の風景を見たいです。家族と出かけた八十八か所のお寺の映像を見たときには、とても懐かしく感じました。今は自分で行けないところが多いので、職員さんにリクエストをして、風景を撮影してきてもらうこともあります。撮影してくるのは大変だとは思いますが、楽しく見ることはできています。

ワンポイント

リハビリ



～腰痛について～



腰痛の原因は、原因が明らかなものと、そうでないもの、があります。
原因が「明らかなとき」は、無理に運動することはせず、必要な時は医師の指示に従うようにしましょう。しかし、その後に過度な安静や痛みへの不安を抱えてしまうと、**腰痛慢性化の原因**になります。

◎腰痛を予防するためには！

日頃の動作や姿勢を注意することと、体幹と下半身を鍛え、適度な柔軟性を保つことが大事です！

～動作と姿勢のワンポイント～

①物を持つとき・運ぶとき



膝を曲げて、物に体を近づけ、
お腹に力を入れて腹筋を働かせます

②座る姿勢



椅子に深く腰掛けて背筋を伸ばします



同じ姿勢で長い時間過ごすと…
疲れがたまる・筋肉が硬くなる・血流が悪くなる・
腰にだるさや痛みが生じる、等の症状が出現しやすくなります。
時々、**姿勢を変える、軽くストレッチする**等、腰回りの筋肉を
ほぐして筋肉を柔らかくし、血流を良くしましょう！



無料低額診療事業のご案内

当院は、社会福祉法第2条3項に基づいて、病気やけがにより生計困難をきたす恐れのある方や経済的理由により必要な医療を受けることが困難な方に対して、無料または低額な費用で医療を受けられるよう無料低額診療事業を行っています。

利用可能対象者

低所得者世帯等、経済的理由により診療費の支払いが困難と認められる方

申請方法 ※相談は無料。秘密は厳守いたします。

まずは1階「地域連携室」医療ソーシャルワーカーまでお尋ねください。

ご相談をお受けした後、院内規定により必要書類を作成し審査を行います。尚、必要に応じて申請者および世帯全体の収入や支出が分かる明細等を確認させていただくこともございます。

济生会松山病院 地域連携室・医療福祉相談室

☎ (089) 951-6111 (代表)

〒791-8026 松山市山西町 880 番地 2

E-mail: renkeishitsu@matsuyama.saiseikai.or.jp



診療科/内科・循環器内科・脳神経内科・外科
整形外科・脳神経外科・婦人科
泌尿器科・眼科・放射線科・耳鼻咽喉科
皮膚科・麻酔科・リハビリテーション科



休診日/第2・4・5土曜、日曜・祝日

駐車場無料

にぎたつ苑の寄付金について



济生会は、明治44年に創立されてから皆様に支えられ現在に至ります。頂いた寄付金は、利用者様に還元し、この長い歴史の積み重ね(先人の想い)を、絶やすことなく未来へつなぎます。



利用者様にあった車椅子や歩行器など

ノーリフト機器を導入し「怖い・痛い」の

快適な苑内生活や歩行訓練に使用します。

思いを軽減。安心・安全の介護実現

寄付金へのお問い合わせは、にぎたつ苑相談室まで
※ご寄付は税制上の優遇措置を受けることができます。

お問い合わせ先 089-951-6600



济生会 松山老人保健施設にぎたつ苑

理念

济生会理念のもと、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、在宅を含めた生活機能の維持・向上を目指し、総合的にサービスを提供する。

サービス目標

1. 利用者の意思を尊重し、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要なサービスを提供する。
2. 生活環境の整備や在宅生活に必要な体力・基本動作能力の獲得など、生活の質の向上を目的にサービスを提供する。
3. 利用者の身体状況に応じて、適応なサービス提供の支援を行い、安全な在宅生活維持に努める。
4. 自立した在宅生活が継続できるよう、在宅サービスを提供するとともに、他のサービス機関と連携して在宅生活を支援する。
5. 市町村自治体や保健・医療・福祉機関などと連携し、地域一体となったケアを目指す。

■介護老人保健施設

■訪問リハビリテーション

■日常生活支援・指導事業

■通所介護(興居島)

■短期入所療養介護

■介護予防訪問リハビリテーション

■介護職員初任者養成講座

■介護予防型通所サービス(興居島)

■介護予防短期入所療養介護

■居宅介護支援

■訪問看護ステーション

■配食サービス(興居島)

■通所リハビリテーション

■訪問介護

■多機能型なでしこハウス

■過疎地有償運送(興居島)

■介護予防通所リハビリテーション

■介護予防型訪問サービス

■在宅生活復帰支援センター

■就労継続支援B型

ハートフル济生会

ワークステーションなでしこ



発行元 社会福祉法人 济生会

松山老人保健施設にぎたつ苑

苑長：山本昌也

住所 松山市山西町 880 番地 2

電話 089-951-6600

ホームページ <http://nigitsatsu.saiseikai.or.jp/>

編集者 広報委員会

発刊日 令和4年1月1日

* 広報誌内におけるすべての画像は、本人様及びご家族様に了承を得て掲載しています。